



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2012年8月会報 第287

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Philip Mathai (インド)
 主題: "Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」
 標語: "Share your blessings in love" 「恵みを愛もて分かち合おう」
- アジア地域会長(AP) Oliver wu (台湾)
 主題: "Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
 標語: "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ます」
- 西日本区理事(RD) 成瀬 晃三 (名古屋)
 主題: 「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」
 "Let Y'smes Light Shine before Others
 In the club, in the community, in the world"
 標語: 「ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう」
 "Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!"
- 六甲部長 上野 恭男 (芦屋)
 主題: 「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」
- 宝塚クラブ会長 長尾 亘
 主題: 「原点に帰って、楽しい例会」
 "Buck to the Origin!! Joyful Meeting."

今月のテーマ: EMC-C (クラブの維持強化)
 今月の聖書: 与えなさい。そうすれば、あなたがたにも与えられる。押し入れ、揺すり入れ、あふれるほどに量りをよくして、ふところに入れてもらえる。あなたがたは自分の量る秤で量り返されるからである。
 ルカ福音書6:38

2012年8月第1例会

日 時: 2012年8月8日(水) 18:00
 場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費: 会員5,000円、会員外5,000円
 ドライバー 若林 成幸

開会点鐘 長尾 亘会長
 ワイズソング 全 員
 聖 書 山崎 泰男
 祈 禱 武田 寿子
 ゲスト・ビジター紹介 長尾 亘会長
 ゲストスピーカー 岩田 晋 (大阪土佐堀クラブ)
 「六十路老学徒の韓国歷程」

会 食
 誕生日のお祝い
 会長報告 長尾 亘会長
 YMCA 報告 谷川 尚連絡主事
 閉会点鐘 長尾 亘会長

2012/13 役員	会 長 長尾 亘 直前会長 山崎泰男 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部地域奉仕環境事業主査 山崎泰男 西日本区交流事業主任 石田由美子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 多胡 葉子 地域奉仕・環境 山崎泰男、EMC 福田宏子 交 流 石田由美子 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	多胡 葉子 (8月2日) 森田 紀子 (8月4日) 若林 弘子 (8月28日)
7 月 実 績	在籍会員数 25名 例会出席者数 24名 うち会員数 17名 出席率 68.0% メイクアップ(内数) 0名 メネット 2名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター 5名
	BFポイント 7月 6,200円 累 計 6,200円 にこにこBOX 7月 2,000円 累 計 2,000円 物品販売累計 5,300円

2012年～13年長尾会長抱負

7月キックオフ例会から第25代会長に成りました。

大阪土佐堀クラブから2002年7月に転会して10年ですが、宝塚クラブは



親しみやすい楽しいクラブです。私がワイズに入会した時に先輩から「一番偉いのは会長であり、だからクラブの働きは会長しだい」と聞かされてきて5回目の会長ですが初心を思い出すようにと、会長主題を「原点に帰って、楽しい例会」としました。宝塚クラブは一人一人が会長の働きをして各自の役割も互いに協力するクラブで2年前の「ブリテン最優秀賞」が物語っています。宝塚クラブの伝統を大切に、ニューメンバーに伝えるのが会長の役割と考え、この1年頑張りますので、よろしく願いいたします。

2012年7月第1例会

7月11日(水)18時30分。宝塚ホテルゴールドの間に於いて7月第1回例会として総会及びキックオフ会を上野恭男六甲部部長、柏原佳子書記様をお迎えして行なわれました。



役員交代式では長尾亘会長、多胡葉子副会長、

吉田明会計、若林成幸書記の就任のご挨拶があり、また豊中クラブより転会して来られた小島規似郎メンの紹介がありました。

長尾新会長は「原点に戻って楽しい例会を。またHPでお世話になっている長橋雄平様への感謝の気持ち。そして来年5月の宝塚クラブ創立25周年記念例会に向けて頑張っていきたい」と抱負を述べられました。

会食後、今年度の上野六甲部部長のお話。急逝された故飯田六甲部部長が今年のテーマとされていた「先頭にたってワイズの光を輝かせよう」の意志を継いでいきたいと。そして柏原様が故人への思いを込めて「ハチドリの一としづく」の本を朗読されました。

『森が燃えていた際、森の生き物たちはわれ先にと逃げていくのにハチドリだけが、口ばしで水のひとしづくを一滴ずつ運んでは火の上で落とすして行きます。動物たちがそんなことをしていったい何になるんだと笑う中、ハチドリは私は私に出来ることをしているだけと話します。』

上野六甲部部長は、私は自分に出来ることをやっていきたいというボランティア精神を受け継いでいきたいとお話されました。

その後2011年度の事業報告、決算報告が行われ各委員会からの今年の計画、また予算審議が話されました。

お誕生日のお祝い後、会長報告、YMCA活動報告があり長尾新会長の閉会点鐘で新しい年の初めての例会は終わりました。

鯖尻佳子

7月第2例会報告

7月第2例会は、7月18日(水)午後6時からラーメン工房「あ」にて行われた。例会後に山崎前会長のご苦勞さん会を行うため、バザー協賛をいただいている市内のお店の一つを会場として選んだ。出席者は長尾会長、山崎前

会長、今田夫妻、福田夫妻、石田、福田ヒ、多胡、鯖尻、水谷、三品、堀江、若林、計14名。

1、西日本区各部の行事予定が報告され参加者を募った。石田交流事業主任から「これまで他クラブ例会に参加した経験のない方に初参加を」と呼びかけがあった。

大阪土佐堀クラブ例会 8/21 (火)

びわこ部部会 8/25 (土) 10:30

中部部会 8/26 (日) 13:30

西中国部会 9/29 (土) 13:00

六甲部部会 9/8 (土)

京都部会 9/9 (日)

その他詳細は次月号にて報告。

2、九州豪雨災害支援について、熊本クラブからの呼びかけに応え、当面必要とされる物資の調達を進める。

3、8月の例会運営を協議。大阪土佐堀クラブの岩田 晋メンをゲストに迎え韓国事情を聞きながら納涼例会らしく運営することとなった。友人・知人への呼びかけを積極的に！会費は一律5000円。

4、クラブ創立25周年記念事業の準備委員長として多胡メンが推挙され、8月末に準備委員会を行うこととした。

5、ブリテン8月号の寄稿分担、編集・郵送日程等の確認があった。

若林 成幸 (書記)

【ゲストスピーカープロフィール】

岩田 晋(すすむ) 1944年7月生まれ、愛知県出身。1977年、初めて訪ねた韓国慶州での出来事が韓国語学習・韓国史を学ぶ契機となる。以来、会社生活を続ける一方で、韓国へ頻りに足を運ぶ。2004年、定年を迎えるも、隣国の歴史

への思い絶ち難く、翌年、単身韓国へ渡り、高麗大学へ入学。専攻は韓国史学。学校近くの学生街で下宿生活を始め、キャンパスでは親子以上に年齢差のある若い学生と机を並べて勉強?にいそしむ。「3現主義」をモットーに、ソウルをはじめ地方各地に頻りに足を運び、日韓交流の歴史を探る。卒論テーマは、《日帝期、朝鮮農業移民日本人の移住過程及び生活様相の実態》。2009年2月、卒業と共に帰国。現在は日本統治時代の在朝日本人の生活様相を探るため、今も年に数回玄界灘を渡る。名古屋の大学の研究員でもあり、韓国に残る日本住宅の実測研究は16年目を迎える。ワイズ歴は30年。ソウル在住当時はソウルのワイズで毎月メーカーキャップ。

2012～13年六甲部 第1回評議会に
出席して

新年度に入り、六甲部の第1回評議会が7月14日(土) 14:00 から摂津本山のブルーミンメドールで開催されました。宝塚クラブからは長尾会長、石田交流主任、多胡メン、福田宏メン、堀江メン、鯖尻メン、山崎計7名の出席でした。

4月に飯田義雄メンの突然のご不幸に遭遇し、同じ芦屋クラブの上野メンが六甲部長を引受けられ始めての評議会でした。開会の前に飯田メネットも出席され、飯田メンの昇天を黙祷でお祈りした後、上野部長の開会点鐘でスタートいたしました。司会は柏原書記です。

来賓ご挨拶は水野総主事から、前期の神戸YMCA125周年記念を無事に終え、新しい年度に向かっての抱負を述べられました。

評議会に入り部長キャビネット・各事業主査の承認、前期の部長活動報告を森直前部長から、会計報告を館直前会計から、監査報告を大田直前監事から報告され承認され、新年度報告は上野部長より、部長方針を発表、内容は亡き飯田メンの方針を踏襲された内容でした。会計予算

案、部則内規のあと7事業主査方針、8クラブ会長方針の発表がありました。

休憩を挟んで、神戸大学名誉教授 高橋昌明先生の「清盛がめざしたもの」について講演がありました。特に王朝と武家（幕府）の矛盾対立を含みながら互いに補完するという複雑な背景。清盛は攝津福原に居を構え、めったに上洛せず、後白河法皇の権力に距離を置くことで自立性を確保しようと狙った面白い構図など、楽しい90分でした。放映中の大河ドラマはドラマの筋書きが解り難いため、視聴率が低い。このお話を聞いていただければ多分視聴率は上がるでしょうか？言われ締めくくりされました。

最後は8クラブ合同の納涼会です。EMC主査の鵜丹谷氏の司会で進行され、渴いたのどを潤したあとは2階へ上がり、鵜丹谷氏と大野氏のギター演奏に合わせて懐かしい歌を喉自慢の飛び入り歌手が披露、ブルーミンメド一のオーナーでもある歌手のフレディー葉山さんがベサメムーチョほか3曲を披露されました。我が宝塚クラブも看板踊り子である石田メンがフラを披露し会場の絶賛を受けました。あっという間の2時間でしたが六甲部8クラブ納涼会は楽しいうちに終演となりました。

山崎泰男(直前会長)

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

これは、資本の論理でしょうか。投資をすればするほど、面白いように、利息や利潤が返ってくる。あの高度経済成長期の論理を示している、と一見思えます。しかしまるで違います。イエスとその弟子たちの生活は、袋も二枚の下着も持たない、無一物の放浪者の生活でした。行く先々で信奉者の家を見つけ、そこで供されるわずかなパンと寝場所を受けながら、つぎの場所へと神の国を伝え歩く連続の日々でした。そのなかで、彼らが与えるものは唯ひとつ。その家に「平安があるように」と祝福の祈りをするだけでした。しかし真実の祈りには力がありました。それは人びとを力づけ、生きる希望を与え、行き詰まりの穴から人びとを引き出しました。だから祈りを受けた人たちは、この貧しい一行にパンを差し出し、かれらのふところに食べ物を押し込み、感謝の笑みを返したのです。歴史を切り開いて行く力は、真実な祈りに裏打ちされた、真実な言葉、真実な行動にほかなりません。

誕生月 輪番シリーズ

心にの残る身近な出来事

多胡葉子

最近世界の長寿国と言われる5カ国で、長寿の秘訣を探るはじめての国際的な研究プロジェクトが始まったとの記事に目がいった。勿論日本もはいつている。2011の統計では100歳以上の人口は47,000人以上とのこと。しかし、元気に100歳を迎えるということはとても難しい。

70歳を越えると周辺で病気知らずという友人や知人は殆どいない。足腰の不調、メタボ、コレステロール、高血圧、認知症などなどと薬の服用や病院通いが生活の一部となっている。

山崎直前会長ご苦労さん会



山崎泰男ワイズ1年間ご苦労様でした！！

友人との会話もまず体調の不調をお互いに訴えたり先行きの不安を語りあうことが多い。年齢を重ねるということはそれが当たり前と思っていた。

先日従姉妹から来年の一月に100歳を迎える小母(母の従姉妹にあたる)と食事をしましょようと誘われ、京都駅の和食のお店に行った。

その小母は亀岡に息子夫婦と住んでおられるが一人で京都まで出てこられ私にとっては何十年ぶりかの再会だった。一週間に2~3度は京都に出て来てこのお店で食事をし、京都の街を楽しんでいるとのこと。このお店の常連さんでもある。100歳近くになるまで歯医者以外のお医者さんと薬とは一度も縁がないとのこと。背筋はピンと張りその歩き方はこちらが小走りについていけないと行けない位の早さ。戦前戦後を生きてこられいつも順風満帆の人生を歩んでこられたわけでもない。早くにご主人をそしてお二人の娘さんもなくされている。お商売をしておられたがそれも良いときばかりではなかったと聞いている。しかし、小母さんと話していて過去や現在の愚痴は何一つ出てこない。おいしい食事をしながらの楽しい会話は我々より30歳も年上とは思えない。3時間ほどの語らいの後またいつでもご馳走するよと後ろを振り返ることなくさっさと帰って行かれた。素敵な100歳の方との心に残る身近かな出来事であった。

YMCA だより



1、九州北部豪雨について

去る7月13日(金)を中心に起こった九州北部地方での豪雨災害について、熊本YMCAの阿蘇キャンプ場をボランティアセンターとして、熊本YMCAが復旧支援の活動を続けておられます。ボランティアが不足している様子が配信されていて、7月

17~18日に小澤昌甲主事(西神戸YMCA保育園)が緊急で向かいました。阿蘇地区の住民救援組織とYMCAとの連携が難しい状況なども伺いましたが、まだまだ1ヶ月くらいは作業が継続される状況のようです。

有志の派遣をお願いしたり、募金も始まりました。よろしくお支えください。

2、被災地支援プログラムについて

夏キャンプのプログラムの中で、この夏、二つの被災地支援のプログラムが行なわれます。一つは福島市の子どもたち40名を招待する三菱商事協賛のダイヤモンドキャンプで、これにはワイズメンズクラブや現地のボランティアの方々も啓明学院高校のボランティアの方々もご協力いただきます。また、7月23日(月)から宮城県を訪問するボランティアバスには啓明学院高校の生徒さん30名をはじめ、学校法人の幼稚園の教員の方々、また、シアトルYMCAのスタッフと学生3名も参加されました。

3、はんしん自立の家デイキャンプについて

はんしん自立の家は、宝塚ワイズの方々でも以前からお支えいただいでご存知の方も多ですが、宝塚市美幸町にある、50人のハンディキャップのある「入居者」が生活しておられる施設です。入居者が親から離れて、一人の社会人として、自分の意思で主体的に自由に「生活する場」であり、街の住人としての「地域の中で暮らし」、毎日の「装いと潤いのある暮らし」が当たり前のこととして、「ノーマライゼーション」~一人ひとりが、同じ社会を構成する大切な人間であり、障害者ではなくハンディキャップのある普通の人として生活をしていく~を、実現されることを目標にしている施設ですが、毎年、YMCAがその一環として、夏に「デイキャンプ」のお手伝いをさせていただいています。クラフトや野外料理、キャンプファイヤーなど、毎年楽しみにされている方も多し行事です。今年は8

月 25 日 (土) 14:00 から夕暮れまで行う予定です。よければぜひお手伝いとしてでなく一緒に楽しみましょう。

その他、余島をはじめとして、様々な場所で、子どもたちの貴重な成長の機会をつくろうとユースリーダーが中心となってキャンプを行っています。無事にいい経験がなされるようお祈りをあわせていただければ幸いです。

谷川 尚(連絡主事)

お 願 い

2012/13年度前期会費納入
新しい年度になりました。会費の納入をお願いします。 前期分 20,000円

(銀行振込みの場合)

銀行名 三菱東京UFJ銀行

宝塚中山支店

口座番号 普通預金 4585836

口座名 宝塚ワイズメンズクラブ会計

交流事業便り

ブリテン8月号から交流事業を中心に西日本区からのニュースをご紹介します。コーナーが出来ました。

どんな記事が載りますか私自身も期待しています。

★ 部会のお知らせ ★

8月後半から各部の部会が始まります。今年六甲部を飛び出して他の部会へも行ってみませんか？六甲部とはまた、違う個性、雰囲気があり、ワイズライフを数倍楽しめます。遠くなら近郊の観光を兼ねて1泊で出かけるのも気分が変わります。

西中国部会のあと、岩国クラブとの交流会も1つの提案です。

★ 9部会一覧表 ★

部会	日付	場所	部会開始時刻登録費	締切
びわこ部	8月25日(土)	ホテルニューオウミ	10:30~ 8,000円	7月31日申込済
中部	8月26日(日)	名鉄ニュークラントホテル	13:30~ 10,000円	7月31日
六甲部	9月8日(土)	ホテル竹園芦屋	13:00~ 8,000円	
京都部	9月9日(日)	ウエスティン都ホテル京都	15:00~ 10,000円	7月25日
中西部	9月15日(土)	ホテルグランウヰア大阪	14:00~ 6,000円	8月20日
阪和部	9月22日(土)	たかつガーデン	13:30~ 4,000円	
西中国部	9月29日(土)	広島YMCA	13:00~ 7,000円	8月11日
瀬戸山陰	10月8日(月祝)	米子YMCA	13:00~ 7,000円	9月末
九州部	10月20日(土)	場所未定	未定	未定

各部とも興味深い講演会、コンサートが予定されています。詳細につきましては、西日本区ホームページをご覧ください。

★ STEP事業のお知らせ ★

4年ぶりにSTEPが誕生しました。

中部四日市クラブ、大西博昭メンのコメント、慎太郎君です。7月31日に名古屋を出発し、ケニアの首都、ナイロビに向かいました。現地ではナイロビワイズメンズクラブのメン宅で11週間ホームステイします。女子が元気、女性パワー、と言われている中、23歳の男子が「スラムを見て自分が何を感じるか、現地の若者は自国の将来をどのように考えているのか、肌で感じて来て、今後のアフリカと日本の関係を考えてい」との熱い思いで日本男子の存在をアピールしてくれました。

去る7月19日(木)、四日市クラブ総会の後、壮行会が開かれ、成瀬晃三理事始め、役員や他クラブからエールを送りました。折しもオリンピックイヤーですが、STEP事業は4年毎とは言わず、これを機に毎年若者たちが手を挙げてほしいと思いました。冒険心と安全管理をしっかりとコントロールして、大きく成長して帰ってきてください。

(交流事業主任 石田由美子)

